



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月30日

上場会社名 ハウス食品グループ本社株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2810 URL <https://housefoods-group.com>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）浦上 博史
 問合せ先責任者（役職名）広報・IR部長（氏名）仲川 宜秀（TEL）03-5211-6039
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	140,090	△3.1	9,877	8.4	8,810	△11.9	971	△81.4
2020年3月期第2四半期	144,634	△0.8	9,113	6.3	9,997	6.1	5,207	△6.4

（注）包括利益 2021年3月期第2四半期 48百万円（△99.2%） 2020年3月期第2四半期 5,851百万円（△22.7%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	9.63	—
2020年3月期第2四半期	51.68	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	356,592	278,022	69.8	2,470.12
2020年3月期	367,194	280,930	67.7	2,469.20

（参考）自己資本 2021年3月期第2四半期 248,861百万円 2020年3月期 248,770百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	23.00	—	23.00	46.00
2021年3月期	—	23.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	23.00	46.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	285,000	△3.0	18,500	△2.7	18,300	△12.0	6,300	△45.0	62.53

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期2Q	100,750,620株	2020年3月期	100,750,620株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,909株	2020年3月期	1,367株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期2Q	100,748,979株	2020年3月期2Q	100,749,910株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・その他、業績予想に関する事項は、四半期決算短信【添付資料】P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	12
3. 補足情報	13
(1) 業績の状況	13
(2) グループ会社数	13
(3) 連結損益計算書の状況	14
(4) 連結貸借対照表の状況	17
(5) 連結キャッシュ・フローの状況	17
(6) 設備投資の状況	18
(7) 減価償却費の状況	18
(8) 主要経営指標等	18
(9) 参考情報	19

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大が経済活動に甚大な影響を及ぼすなか、当社グループは社員とその家族の安全確保・感染リスク低減を徹底するとともに、お客様のライフラインを支える「食」の一翼を担う企業グループとして、製品・サービスの安定的な提供に努めました。

同時に、「食を通じて人とつながり、笑顔ある暮らしを共につくるグッドパートナーをめざします。」という当社グループのグループ理念実現に向けて、企業市民として果たすべき「3つの責任」（お客様、社員とその家族、社会）の全てにおいて一貫した取組を進めております。

当第2四半期連結累計期間の経営成績については、コロナ禍における消費行動の変化が各事業に大きな影響を及ぼしました。外出自粛等の影響から健康食品事業や外食事業が低迷する一方、家庭内食需要の増加により国内外で家庭用製品の販売が伸長し、香辛・調味加工食品事業や海外食品事業が好調に推移いたしました。

なお、新型コロナウイルス感染症による事業環境の変化を受け、当第2四半期連結会計期間において営業外費用（持分法による投資損失）および特別損失（減損損失）を計上しております。詳細は本日公表の「営業外費用および特別損失の計上ならびに業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

これらの結果、当社グループの経営成績は以下のとおりとなりました。

	2021年3月期 第2四半期連結累計期間	
	金額（百万円）	前年同期比（％）
売上高	140,090	96.9
営業利益	9,877	108.4
経常利益	8,810	88.1
親会社株主に帰属する四半期純利益	971	18.6

セグメント別の経営成績の概況（セグメント間取引消去前）は、次のとおりであります。

事業の種類別 セグメント	売上高		営業利益 (セグメント利益又は損失(△))	
	金額（百万円）	前年同期比（％）	金額（百万円）	前年同期比（％）
香辛・調味加工食品事業	71,746	103.8	7,942	134.8
健康食品事業	10,666	71.2	△58	—
海外食品事業	18,796	132.7	2,973	138.9
外食事業	21,616	81.6	△1,450	—
その他食品関連事業	21,569	91.4	921	96.6
小計	144,394	97.3	10,327	103.4
調整（消去）	△4,304	—	△450	—
合計	140,090	96.9	9,877	108.4

(注) 1. 調整（消去）の内容は、セグメントに配分していない損益およびセグメント間取引に係る相殺消去であります。

<香辛・調味加工食品事業>

ハウス食品(株)の家庭用製品事業は、新型コロナウイルス感染症による内食需要の拡大や影響長期化に伴うお客様ニーズの変化を受け、カレーやスパイス等、幅広い製品群で販売が伸びました。一方、ハウス食品(株)や(株)ギャバンが手掛ける業務用製品事業は、非常事態宣言解除後は緩やかに回復に向かっているものの、外出自粛による業務用市場の低迷から減収となりました。

以上の結果、香辛・調味加工食品事業の売上高は717億46百万円、前年同期比3.8%の増収、営業利益は増収効果やコスト抑制が寄与し、79億42百万円、前年同期比34.8%の増益となりました。結果、売上高営業利益率は11.1%となり、前年同期より2.5pt向上いたしました。

<健康食品事業>

当事業セグメントは大変厳しい状況が続きました。事業基盤再構築の一環として、競争力の維持確保が難しいPET製品の事業縮小を進める一方、お客様の健康づくりに貢献するべくビタミン事業や乳酸菌事業の育成に努めました。しかしながらコロナ禍による影響は大きく、収益の柱である「ウコンの力」が外飲み需要の急減から大幅減収となったほか、「C1000」はCVS店頭を中心とした販売となることから、特に都市部において販売機会の減少を強いられ苦戦いたしました。

以上の結果、健康食品事業の売上高は106億66百万円、前年同期比28.8%の減収となりました。利益面では、徹底したコスト削減に努めましたが、大幅減収による影響を吸収するには至らず、営業利益は58百万円の損失となり、前年同期から5億53百万円の減益となりました。結果、売上高営業利益率は△0.5%となり、前年同期より3.8pt減少いたしました。

<海外食品事業>連結対象期間：主として2020年1月～6月

米国豆腐事業は、植物性タンパク市場の需要拡大を背景に、コロナ禍においても販売を伸ばしたものの、本年1月のロサンゼルス工場新ライン稼働に伴う初期コスト増などから減益となりました。

中国カレー事業は、在宅需要の急増により家庭用製品が伸長する一方で、コロナ禍の影響により販促や事業活動が制限され、コスト投下量も縮小したことから増収増益となりました。一方、依然厳しい市場環境下にある業務用製品も徐々に回復の兆しを見せております。

タイにおける機能性飲料事業は、2019年10月の物品税導入によるコスト増が負担となりましたが、旺盛な需要のもと生産供給量を大幅に増強したことで、モダントレード、トラディショナルトレードともに配荷が進み、増収増益となりました。

以上の結果、海外食品事業の売上高は187億96百万円、前年同期比32.7%の増収、営業利益は29億73百万円、前年同期比38.9%の増益となりました。結果、売上高営業利益率は15.8%となり、前年同期より0.7pt向上いたしました。

<外食事業>連結対象期間：(株)壺番屋は2020年3月～8月、海外子会社は2020年1月～6月

(株)壺番屋は、コロナ禍における外出自粛や営業自粛要請等の影響から、国内外ともに来店客数が減少したことで減収減益となりました。こうした厳しい経営環境のなか、各店舗では感染拡大防止のための諸施策に取り組み、安心してご来店いただける運営に努めたことで徐々に来店客数は戻りつつあり、積極的に取り込み策を実施したテイクアウトやデリバリーも単価アップに寄与しました。海外においては、8月にインド1号店をオープンし、巨大市場での取組を開始しております。またフランチャイズ加盟店に対しては、加盟保証金制度を廃止し全額返還する等の資金繰り支援策を実施しております。

以上の結果、(株)壺番屋とその他外食子会社を含む外食事業の売上高は216億16百万円、前年同期比18.4%の減収となりました。営業利益は、(株)壺番屋を連結対象子会社とした際に発生したのれんや無形固定資産の償却負担もあり、14億50百万円の損失、前年同期からは19億57百万円の減益となりました。結果、売上高営業利益率は△6.7%となり、前年同期より8.6pt減少いたしました。

<その他食品関連事業>

CVS向けの総菜等製造事業を営む(株)デリカシェフは、前年同期並みの売上を確保いたしました。人件費の増加等により減益となりました。

農産物・食品等の輸出入および販売を営む(株)ヴォークス・トレーディングは、業務用の荷動きが鈍いなか、MA米(ミニナム・アクセス米)の落札が前年同期から減少したことで減収減益となりました。

以上の結果、その他食品関連事業の売上高は215億69百万円、前年同期比8.6%の減収、営業利益は9億21百万円、前年同期比3.4%の減益となりました。結果、売上高営業利益率は4.3%となり、前年同期より0.2pt向上いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は、3,565億92百万円となり、前連結会計年度末に比べて106億1百万円の減少となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金が減少した一方で、商品及び製品や有価証券が増加したことなどから、32億87百万円増加の1,529億41百万円となりました。固定資産は、建物及び構築物が増加した一方で、契約関連無形資産や商標権が減少したことなどから、138億89百万円減少の2,036億52百万円となりました。

負債は、785億71百万円となり、前連結会計年度末に比べて76億93百万円の減少となりました。

流動負債は、短期借入金が増加した一方で、未払金や未払法人税等が減少したことなどから、42億56百万円減少の488億81百万円となりました。固定負債は、繰延税金負債や長期預り保証金が減少したことなどから、34億37百万円減少の296億89百万円となりました。

純資産は、保有する投資有価証券の時価上昇によりその他有価証券評価差額金が増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上および配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことや非支配株主持分が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べて29億8百万円減少の2,780億22百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は69.8%（前連結会計年度末は67.7%）、1株当たり純資産は2,470円12銭（前連結会計年度末は2,469円20銭）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況および最近の経営環境などをふまえ、2020年5月12日に公表いたしました2021年3月期の通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「営業外費用および特別損失の計上ならびに業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は、本資料発表日現在に入手可能な情報や仮定に基づき作成したものであり、実際の業績・結果は予想数値あるいは見通しと異なる場合があります。今後、業績予想に修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	66,424	67,424
受取手形及び売掛金	47,774	46,900
有価証券	10,893	12,418
商品及び製品	11,390	13,166
仕掛品	1,979	2,320
原材料及び貯蔵品	5,128	5,127
その他	6,181	5,746
貸倒引当金	△115	△159
流動資産合計	149,653	152,941
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	32,327	33,900
機械装置及び運搬具(純額)	17,229	17,460
土地	31,865	32,012
リース資産(純額)	1,861	1,731
建設仮勘定	4,589	1,132
その他(純額)	2,368	2,166
有形固定資産合計	90,239	88,401
無形固定資産		
のれん	2,562	—
商標権	24,024	19,634
ソフトウエア	1,549	1,450
契約関連無形資産	24,887	20,202
ソフトウエア仮勘定	731	1,574
その他	722	697
無形固定資産合計	54,476	43,558
投資その他の資産		
投資有価証券	60,182	58,624
長期貸付金	3	2
繰延税金資産	1,837	1,839
長期預金	1,000	1,000
退職給付に係る資産	3,162	3,660
破産更生債権等	659	654
長期預け金	1,088	1,058
その他	6,825	6,751
貸倒引当金	△1,931	△1,895
投資その他の資産合計	72,825	71,693
固定資産合計	217,541	203,652
資産合計	367,194	356,592

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,706	19,676
電子記録債務	1,553	1,167
短期借入金	3,340	4,263
1年内償還予定の社債	26	13
リース債務	491	511
未払金	17,435	13,296
未払法人税等	4,232	3,736
賞与引当金	636	491
役員賞与引当金	85	45
株主優待引当金	86	92
資産除去債務	3	15
その他	5,543	5,578
流動負債合計	53,138	48,881
固定負債		
長期借入金	98	81
リース債務	1,451	1,302
長期未払金	250	223
繰延税金負債	22,518	20,844
退職給付に係る負債	1,987	1,992
資産除去債務	723	718
長期預り保証金	5,698	4,119
その他	400	410
固定負債合計	33,126	29,689
負債合計	86,264	78,571
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,948	9,948
資本剰余金	22,829	22,829
利益剰余金	195,844	194,498
自己株式	△6	△8
株主資本合計	228,616	227,267
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,650	20,773
繰延ヘッジ損益	14	10
為替換算調整勘定	292	△363
退職給付に係る調整累計額	1,198	1,173
その他の包括利益累計額合計	20,154	21,594
非支配株主持分	32,160	29,160
純資産合計	280,930	278,022
負債純資産合計	367,194	356,592

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	144,634	140,090
売上原価	79,166	77,296
売上総利益	65,468	62,794
販売費及び一般管理費	56,355	52,917
営業利益	9,113	9,877
営業外収益		
受取利息	166	106
受取配当金	363	370
持分法による投資利益	431	—
受取家賃	378	394
その他	225	244
営業外収益合計	1,562	1,114
営業外費用		
支払利息	35	27
賃貸費用	311	317
為替差損	268	265
持分法による投資損失	—	1,421
その他	65	152
営業外費用合計	678	2,182
経常利益	9,997	8,810
特別利益		
固定資産売却益	30	0
投資有価証券売却益	—	33
店舗売却益	9	50
その他	0	—
特別利益合計	38	83
特別損失		
固定資産売却損	0	11
固定資産除却損	293	59
投資有価証券売却損	0	13
投資有価証券評価損	—	3
減損損失	114	9,264
持分変動損失	212	—
事業譲渡損	42	—
その他	21	4
特別損失合計	682	9,354
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	9,353	△462
法人税等	3,109	965
四半期純利益又は四半期純損失(△)	6,245	△1,427
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,207	971
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,038	△2,397

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	671	2,242
繰延ヘッジ損益	△40	△4
為替換算調整勘定	△806	△679
退職給付に係る調整額	△220	△44
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△41
その他の包括利益合計	△394	1,474
四半期包括利益	5,851	48
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,869	2,411
非支配株主に係る四半期包括利益	981	△2,363

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	9,353	△462
減価償却費	4,696	5,016
のれん償却額	1,709	1,708
減損損失	114	9,264
持分法による投資損益(△は益)	△431	1,421
投資有価証券評価損益(△は益)	—	3
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△123	9
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△56	△40
株主優待引当金の増減額(△は減少)	0	5
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	△2	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△146	35
受取利息及び受取配当金	△529	△476
支払利息	35	27
為替差損益(△は益)	192	195
投資有価証券売却損益(△は益)	0	△20
固定資産売却損益(△は益)	△29	11
固定資産除却損	293	59
持分変動損益(△は益)	212	—
事業譲渡損益(△は益)	42	—
店舗売却損益(△は益)	△9	△50
売上債権の増減額(△は増加)	1,812	771
たな卸資産の増減額(△は増加)	987	△2,147
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,700	308
未払賞与の増減額(△は減少)	60	△146
長期預り保証金の増減額(△は減少)	44	△1,571
その他の資産の増減額(△は増加)	△1,821	△407
その他の負債の増減額(△は減少)	△2,883	△2,187
小計	11,820	11,327
利息及び配当金の受取額	551	469
利息の支払額	△32	△23
法人税等の支払額	△3,222	△4,053
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,116	7,721

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△777	△1,101
定期預金の払戻による収入	172	430
有価証券の取得による支出	△1,000	△1,000
有価証券の売却による収入	3,549	2,000
有形固定資産の取得による支出	△7,927	△4,802
有形固定資産の売却による収入	31	3
店舗売却による収入	67	126
無形固定資産の取得による支出	△514	△1,254
投資有価証券の取得による支出	△1,356	△2,028
投資有価証券の売却による収入	598	2,000
子会社出資金の取得による支出	△13	—
関係会社株式の売却による収入	99	—
会員権の売却による収入	0	—
事業譲渡による収入	10	—
出資金の回収による収入	3	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,057	△5,617
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△17,145	△19,761
短期借入れによる収入	16,875	20,646
リース債務の返済による支出	△318	△259
長期借入金の返済による支出	△8	—
社債の償還による支出	△13	△13
自己株式の取得による支出	△2	△2
子会社の自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△2,216	△2,317
非支配株主への配当金の支払額	△621	△635
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△400	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,848	△2,340
現金及び現金同等物に係る換算差額	△425	△433
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,215	△669
現金及び現金同等物の期首残高	62,495	69,870
会社分割に伴う現金及び現金同等物の減少額	△2,729	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	57,552	69,201

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税金等調整前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(持分法による投資損失)

当社の持分法適用会社でインドにおいてスパイス製品の製造販売を主な事業とするヒマドリフーズ社は、同国における新型コロナウイルス感染症収束の見通しが立たないなか、事業環境が悪化し、想定していた収益が見込めなくなりました。

これにより当社は、当第2四半期連結会計期間において、1,365百万円を持分法による投資損失(うち、のれん相当額未償却残高796百万円)として営業外費用に計上いたしました。

(減損損失)

当社は2015年12月に(株)壺番屋株式を追加取得し、当社の連結子会社といたしました。当第2四半期会計期間において新型コロナウイルス感染症が再拡大した状況をふまえ、同社を連結子会社とした際に発生したのれんおよびその他の無形固定資産の減損処理を行い、特別損失9,128百万円を計上いたしました。当該減損損失の計上は(株)壺番屋を連結子会社とした際に発生したのれんおよびその他の無形固定資産から創出される将来キャッシュ・フローを再評価した結果、当初想定に比して低下したことによるものであります。

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の会計上の見積りに与える影響)

当第2四半期連結累計期間については、「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明」に記載のとおり、新型コロナウイルス感染症による消費行動の変化が当社連結業績ひいては会計上の見積りに大きく影響した結果、上記記載のとおり「持分法による投資損失」および「減損損失」を計上いたしました。

下期以降についても、新型コロナウイルス感染症が社会・経済活動に与える影響は依然不透明な状況が続くと考えられ、なかでも外食事業については来期以降も一定の影響が継続すると仮定しております。現時点での想定にさらに大きな変化が生じた場合、当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額 (注) 1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	香辛・ 調味加工 食品事業	健康食品 事業	海外食品 事業	外食事業	その他 食品 関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	67,091	14,845	14,114	26,464	22,107	144,621	—	144,621	12	144,634
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,032	133	48	32	1,483	3,729	—	3,729	△3,729	—
計	69,123	14,978	14,162	26,497	23,590	148,351	—	148,351	△3,717	144,634
セグメント利益又は 損失(△)	5,890	495	2,141	507	954	9,985	—	9,985	△872	9,113

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、主に当社において計上した不動産賃貸収益であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)には、事業セグメントに配分していない当社およびハウスビジネスパートナーズ(株)の損益△872百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において、店舗資産等の収益性の低下に伴う減損損失を、「外食事業」のセグメントにおいて、114百万円計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額 (注) 1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	香辛・ 調味加工 食品事業	健康食品 事業	海外食品 事業	外食事業	その他 食品 関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	69,455	10,470	18,732	21,588	19,831	140,076	—	140,076	14	140,090
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,291	196	65	28	1,739	4,318	—	4,318	△4,318	—
計	71,746	10,666	18,796	21,616	21,569	144,394	—	144,394	△4,304	140,090
セグメント利益又は 損失(△)	7,942	△58	2,973	△1,450	921	10,327	—	10,327	△450	9,877

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、主に当社において計上した不動産賃貸収益であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)には、事業セグメントに配分していない当社およびハウスビジネスパートナーズ(株)の損益△450百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において、(株)老番屋を連結子会社とした際に発生したのれんおよびその他の無形固定資産に係る減損損失9,128百万円および店舗資産等の収益性の低下に伴う減損損失136百万円を、「外食事業」のセグメントにおいて計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「外食事業」のセグメントにおいて、のれんの減損損失を計上したことよりのれんの金額に重要な変動が生じております。当該事象によるのれんの減少額は854百万円です。なお、上記(固定資産に係る重要な減損損失)の記載金額には、当該のれんの減損も含めて記載しております。

3. 補足情報

(1) 業績の状況

《連結》

(単位：百万円)

	20.3期 第2四半期		21.3期 第2四半期		20.3期 通期		21.3期 通期修正予想	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前期比	金額	前期比
売上高	144,634	99.2%	140,090	96.9%	293,682	99.0%	285,000	97.0%
営業利益	9,113	106.3%	9,877	108.4%	19,005	108.2%	18,500	97.3%
経常利益	9,997	106.1%	8,810	88.1%	20,797	108.9%	18,300	88.0%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	5,207	93.6%	971	18.6%	11,458	83.2%	6,300	55.0%
包括利益	5,851	77.3%	48	0.8%	7,981	81.8%	-	-

《事業セグメント別売上高の状況》

売上高	金額		前年同期比		金額		前年同期比	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前期比	金額	前期比
香辛・調味加工食品事業	69,123	101.8%	71,746	103.8%	144,996	102.7%	145,400	100.3%
健康食品事業	14,978	88.3%	10,666	71.2%	27,890	90.3%	21,900	78.5%
海外食品事業	14,162	115.8%	18,796	132.7%	29,734	113.0%	36,700	123.4%
外食事業	26,497	102.9%	21,616	81.6%	52,498	100.8%	45,000	85.7%
その他食品関連事業	23,590	76.7%	21,569	91.4%	46,296	74.8%	44,200	95.5%
調整額	△3,717	-	△4,304	-	△7,733	-	△8,200	-

《事業セグメント別営業利益の状況》

営業利益	金額		前年同期比		金額		前年同期比	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前期比	金額	前期比
香辛・調味加工食品事業	5,890	106.3%	7,942	134.8%	14,111	111.4%	14,600	103.5%
健康食品事業	495	44.8%	△58	-	521	36.7%	△100	-
海外食品事業	2,141	128.3%	2,973	138.9%	4,098	114.3%	5,000	122.0%
外食事業	507	-	△1,450	-	202	-	△600	-
その他食品関連事業	954	80.1%	921	96.6%	1,791	87.6%	1,700	94.9%
調整額	△872	-	△450	-	△1,717	-	△2,100	-

(2) グループ会社数

	20.3期 第2四半期	21.3期 第2四半期	20.3期 通期
連結子会社数	36社	36社	35社
国内	14社	14社	14社
海外	22社	22社	21社
持分法適用関連会社	4社	5社	5社
国内	2社	2社	2社
海外	2社	3社	3社

《21.3期第2四半期主要子会社実績》

(単位：百万円)

	売上高		営業利益		四半期純利益	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比
ハウス食品(株)	67,434	104.9%	7,635	141.1%	5,479	141.4%
ハウスウェルネスフーズ(株)	10,666	71.2%	△60	-	△23	-
ハウスフーズアメリカ社(連結)	6,815	95.5%	295	37.6%	211	37.1%
(株)老番屋(連結)	21,460	83.6%	1,070	35.7%	678	35.5%

※連結対象期間 ハウスフーズアメリカ社：2020年1月～6月 (株)老番屋：2020年3月～8月

《期中平均為替レート》

	単位	20.3期 第2四半期	21.3期 第2四半期	20.3期 通期	21.3期 通期見込
米 国	USD	109.97	108.24	109.24	108.24

(3) 連結損益計算書の状況

① 連結損益計算書

(単位：百万円)

	20.3期 第2四半期		21.3期 第2四半期		対前期増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率
売上高	144,634	100.0%	140,090	100.0%	△4,544	△3.1%
《事業セグメント別》						
香辛・調味加工食品事業	69,123	47.8%	71,746	51.2%	2,622	3.8%
健康食品事業	14,978	10.4%	10,666	7.6%	△4,312	△28.8%
海外食品事業	14,162	9.8%	18,796	13.4%	4,634	32.7%
外食事業	26,497	18.3%	21,616	15.4%	△4,881	△18.4%
その他食品関連事業	23,590	16.3%	21,569	15.4%	△2,021	△8.6%
調整額	△3,717	△2.6%	△4,304	△3.1%	△587	—
売上原価	79,166	54.7%	77,296	55.2%	△1,870	△2.4%
販売費・一般管理費	56,355	39.0%	52,917	37.8%	△3,438	△6.1%
広告宣伝費	4,431	3.1%	3,475	2.5%	△956	△21.6%
運送費及び保管費	5,747	4.0%	5,450	3.9%	△297	△5.2%
販売手数料	826	0.6%	877	0.6%	51	6.2%
販売促進費	15,809	10.9%	15,319	10.9%	△490	△3.1%
人件費	14,461	10.0%	14,148	10.1%	△313	△2.2%
研究開発費	2,162	1.5%	2,039	1.5%	△123	△5.7%
のれん償却額	1,709	1.2%	1,708	1.2%	△0	△0.0%
その他	11,209	7.8%	9,901	7.1%	△1,308	△11.7%
営業利益	9,113	6.3%	9,877	7.1%	764	8.4%
営業外収益	1,562	1.1%	1,114	0.8%	△448	△28.7%
営業外費用	678	0.5%	2,182	1.6%	1,504	221.7%
経常利益	9,997	6.9%	8,810	6.3%	△1,187	△11.9%
特別利益	38	0.0%	83	0.1%	45	116.0%
特別損失	682	0.5%	9,354	6.7%	8,672	1,271.7%
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失 (△)	9,353	6.5%	△462	△0.3%	△9,815	—
法人税等	3,109	2.1%	965	0.7%	△2,144	△69.0%
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	6,245	4.3%	△1,427	△1.0%	△7,671	—
(内訳)						
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,207	3.6%	971	0.7%	△4,236	△81.4%
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	1,038	0.7%	△2,397	△1.7%	△3,435	—
四半期包括利益	5,851	4.0%	48	0.0%	△5,803	△99.2%

② 営業利益の主な増減要因 (前年同期比較)

(単位: 百万円)

売上総利益の減少	△2,673
マーケティングコスト (広告宣伝費・販売手数料・販売促進費の合計) の減少	1,395
人件費の減少	313
運送費及び保管費の減少	297
研究開発費の減少	123
その他費用の減少	1,309

③ 営業外損益の主な増減内容

(単位: 百万円)

	20.3期 第2四半期	21.3期 第2四半期	対前年同期増減
受取利息・有価証券利息	166	106	△60
受取配当金	363	370	7
持分法による投資利益	431	—	△431
受取家賃	378	394	17
その他	225	244	19
営業外収益計	1,562	1,114	△448
支払利息	35	27	△8
賃貸費用	311	317	7
為替差損	268	265	△3
持分法による投資損失	—	1,421	1,421
その他	65	152	87
営業外費用計	678	2,182	1,504

④ 特別損益の主な増減内容

(単位: 百万円)

	20.3期 第2四半期	21.3期 第2四半期	対前年同期増減
固定資産売却益	30	0	△29
投資有価証券売却益	—	33	33
店舗売却益	9	50	41
その他	0	—	△0
特別利益計	38	83	45
固定資産売却損	0	11	11
固定資産除却損	293	59	△234
投資有価証券売却損	0	13	13
投資有価証券評価損	—	3	3
減損損失	114	9,264	9,150
持分変動損失	212	—	△212
事業譲渡損	42	—	△42
その他	21	4	△17
特別損失計	682	9,354	8,672

⑤ 四半期の状況
《連結》

(単位：百万円)

	20.3期					21.3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
売上高	72,341	72,292	78,005	71,043	293,682	67,448	72,642			140,090
前期増減	1,036	△2,168	△1,847	△34	△3,014	△4,893	349			△4,544
営業利益	4,638	4,475	6,861	3,031	19,005	4,407	5,470			9,877
前期増減	327	214	△332	1,236	1,446	△230	995			764
経常利益	5,002	4,995	7,323	3,477	20,797	4,491	4,318			8,810
前期増減	342	232	△117	1,240	1,697	△511	△676			△1,187
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益又は 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純損失(△)	2,488	2,719	4,910	1,341	11,458	2,789	△1,818			971
前期増減	△227	△131	222	△2,172	△2,309	301	△4,537			△4,236
包括利益	1,834	4,017	4,534	△2,404	7,981	2,953	△2,905			48
前期増減	△1,296	△420	3,973	△4,031	△1,773	1,119	△6,923			△5,803

《事業セグメント別売上高》

	20.3期					21.3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
売上高										
香辛・調味加工食品事業	33,405	35,718	40,194	35,679	144,996	35,350	36,396			71,746
前期増減	472	742	642	1,915	3,771	1,945	677			2,622
健康食品事業	7,520	7,458	7,550	5,361	27,890	4,921	5,746			10,666
前期増減	△629	△1,359	△752	△269	△3,009	△2,600	△1,712			△4,312
海外食品事業	7,390	6,772	7,920	7,652	29,734	8,341	10,456			18,796
前期増減	1,357	573	815	673	3,418	951	3,683			4,634
外食事業	13,186	13,310	12,743	13,258	52,498	10,419	11,197			21,616
前期増減	442	316	△349	6	415	△2,767	△2,114			△4,881
その他食品関連事業	12,678	10,912	11,548	11,158	46,296	10,932	10,637			21,569
前期増減	△2,693	△4,474	△4,349	△4,071	△15,586	△1,746	△275			△2,021
調整額	△1,838	△1,879	△1,951	△2,065	△7,733	△2,514	△1,790			△4,304
前期増減	2,086	2,035	2,145	1,712	7,977	△676	90			△587

《事業セグメント別営業利益》

	20.3期					21.3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
営業利益										
香辛・調味加工食品事業	2,884	3,006	4,736	3,485	14,111	4,263	3,678			7,942
前期増減	227	124	△375	1,466	1,442	1,380	672			2,052
ROS	8.6%	8.4%	11.8%	9.8%	9.7%	12.1%	10.1%			11.1%
健康食品事業	144	351	251	△224	521	△235	177			△58
前期増減	△519	△90	△556	264	△900	△379	△173			△553
ROS	1.9%	4.7%	3.3%	△4.2%	1.9%	△4.8%	3.1%			△0.5%
海外食品事業	1,310	831	1,255	702	4,098	1,010	1,963			2,973
前期増減	349	124	192	△151	514	△300	1,132			832
ROS	17.7%	12.3%	15.8%	9.2%	13.8%	12.1%	18.8%			15.8%
外食事業	303	204	△37	△267	202	△927	△523			△1,450
前期増減	463	186	193	△78	763	△1,230	△727			△1,957
ROS	2.3%	1.5%	△0.3%	△2.0%	0.4%	△8.9%	△4.7%			△6.7%
その他食品関連事業	410	544	620	218	1,791	508	413			921
前期増減	△195	△41	△25	8	△254	98	△131			△33
ROS	3.2%	5.0%	5.4%	2.0%	3.9%	4.6%	3.9%			4.3%
調整額	△413	△460	37	△883	△1,717	△212	△238			△450
前期増減	4	△88	240	△273	△118	201	222			423

(4) 連結貸借対照表の状況

《連結貸借対照表の主な増減内容》

(単位：百万円)

	20.3期末		21.3期 第2四半期末		対前期末 増減 金額	主な増減内容
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	149,653	40.8%	152,941	42.9%	3,287	商品及び製品の増加 1,776 有価証券の増加 1,525 現金及び預金の増加 1,000 受取手形及び売掛金の減少 △874
固定資産	217,541	59.2%	203,652	57.1%	△13,889	契約関連無形資産の減少 △4,685 商標権の減少 △4,390 建設仮勘定の減少 △3,458 のれんの減少 △2,562 建物及び構築物の増加 1,573
資産合計	367,194	100.0%	356,592	100.0%	△10,601	
流動負債	53,138	14.5%	48,881	13.7%	△4,256	未払金の減少 △4,140 未払法人税等の減少 △496 電子記録債務の減少 △386 短期借入金の増加 923
固定負債	33,126	9.0%	29,689	8.3%	△3,437	繰延税金負債の減少 △1,674 長期預り保証金の減少 △1,580 リース債務の減少 △148
負債合計	86,264	23.5%	78,571	22.0%	△7,693	
株主資本合計	228,616	62.3%	227,267	63.7%	△1,349	利益剰余金の減少 △1,347
その他の包括利益 累計額合計	20,154	5.5%	21,594	6.1%	1,440	その他有価証券評価差額金の増加 2,123 為替換算調整勘定の減少 △654
非支配株主持分	32,160	8.8%	29,160	8.2%	△3,000	
純資産合計	280,930	76.5%	278,022	78.0%	△2,908	
負債純資産合計	367,194	100.0%	356,592	100.0%	△10,601	

(5) 連結キャッシュ・フローの状況

《連結キャッシュ・フローの主な増減内容》

(単位：百万円)

	20.3期第2四半期 累計期間	21.3期第2四半期 累計期間	対前年同期 増減	主な増減内容
営業活動による キャッシュ・フロー	9,116	7,721	△1,395	税金等調整前四半期純利益の減少 △9,815 たな卸資産の増減額 △3,133 減損損失の増加 9,150 仕入債務の増減額 2,008
投資活動による キャッシュ・フロー	△7,057	△5,617	1,440	有形固定資産の取得による支出 3,125 投資有価証券の売却による収入 1,403 有価証券の売却による収入 △1,549 無形固定資産の取得による支出 △741 投資有価証券の取得による支出 △673
財務活動による キャッシュ・フロー	△3,848	△2,340	1,508	短期借入れによる収入 3,771 連結範囲の変更を伴わない子会社 株式の取得による支出 400 短期借入金の返済による支出 △2,616
現金及び現金同等物 四半期末残高	57,552	69,201	11,649	

(6) 設備投資の状況

《連結》

(単位：百万円)

	20.3期 第2四半期	21.3期 第2四半期	21.3期 通期見込
設 備 投 資	8,097	3,546	11,800
リ ー ス	1,579	184	400
合 計	9,676	3,730	12,200

(7) 減価償却費の状況

《連結》

(単位：百万円)

	20.3期 第2四半期	21.3期 第2四半期	21.3期 通期見込
減 価 償 却 費	4,696	5,016	10,200
支 払 リ ー ス 料	182	172	300
合 計	4,878	5,188	10,500

※売買取引に係る方法に準じて資産計上を行っているリース物件の支払リース料相当は「減価償却費」に含めておりません。

(8) 主要経営指標等

《連結》

	20.3期	21.3期 第2四半期	21.3期 通期修正予想
一株当たり四半期(当期)純利益	113.73円	9.63円	62.53円
一株当たり純資産	2,469.20円	2,470.12円	—
総資本回転率	0.80回	—	—
売上高営業利益率	6.5%	7.1%	6.5%
売上高経常利益率	7.1%	6.3%	6.4%
総資産営業利益率	5.1%	—	—
自己資本当期純利益率	4.6%	—	—
自己資本比率	67.7%	69.8%	—
一株当たり配当金	46.00円	23.00円	46.00円
配当性向	40.4%	238.7%	73.6%
利益配分の基本方針に基づく配当性向	31.6%	29.6%	35.2%

◎利益配分の基本方針：

企業結合に伴い発生する特別損益やのれん償却の影響を除く連結配当性向30%以上

従 業 員 数	20.3期	21.3期	21.3期
	6,122人	6,199人	—

◎休職者・パートを含みません。

(9) 参考情報

① 国内市場規模 (ハウス食品調べ)

(単位: 億円)

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
ルウカレー	485	519	503	474	450	442
ルウシチュー	181	187	180	181	170	166
ルウハヤシ	61	65	63	61	60	62
レトルトカレー	508	516	539	559	581	612
スパイストータル	674	691	703	715	738	762

② ルウカレー市場動向 (S R I)

2021.3期		1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	上期	下期	通期
マーケット 全体	平均売価	197円	192円			195円		
	前年差	+9円	+2円			+5円		
ハウス食品	平均売価	198円	191円			194円		
	前年差	+7円	+0円			+4円		
	金額シェア	61.6%	62.9%			62.2%		

出典: (株) インテージ S R I 月次データ (2020.4-2020.9)

③ 主要カテゴリー別売上高前年比 (出荷金額ベース) の状況

2021.3期		1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	上期	下期	通期
香辛・調味加工食品事業								
	ルウカレー計	108.7%	104.0%			106.3%		
	レトルトカレー計	99.5%	109.3%			104.6%		
	ルウシチュー計	128.1%	93.8%			103.8%		
	ルウハヤシ計	105.1%	120.5%			112.2%		
	スパイス計	124.6%	115.9%			120.2%		
健康食品事業								
	ウコンの力	36.6%	56.9%			47.5%		
	C1000	64.8%	75.6%			70.0%		
	1日分のビタミン	94.8%	104.4%			99.6%		